

ほたる観賞用木道設置 ボランティア R2.07.16

北海道通信社さん記事

ほたるの生態知って

網走工業 小学校に図書等

【網走発】網走工業(株)（網走、中山寿恵社長）は16日、ほたるの学校として知られる網走市立西が丘小学校の子どもたちに図書20冊とハンドソープなどをプレゼントした。また、市内卯原内にある「北ほたるの里」にすることも鑑賞用ウッドデッキを設置。「淡い光が舞う幻想世界を楽しんでもらいたい」としている。

ほたるが舞う豊かな農村環境を子どもたちに引き継ごうと、網走西部地区資源保全協議会が2010年から卯原内地区に「北ほたるの里」を造成。地元で「ほたるの学校」と呼ばれている西が丘小学校の児童とともに、幼虫の捕獲や飼育、放流会、観賞会を行っている。ことしの鑑賞会は新型コロナウイルスの影響で開

催は未定となっている。網走工業は、網走建管が所管する卯原内川道里砂防工事を請け負ったことをきっかけに取組に協力。社会貢献ならびに道家庭教育サポート企業等の取組として、8年前から児童向けにほたるの生態に関する図書を寄贈している。寄贈した本は、同校が図書室に「ほたるのコーナー」を設け、調べ学習や休み時間に子ども

とで下部に空間をつくり、ほたるが行き来できるように配慮している。なお、耐久性の関係からシーズン終了後に毎回撤去している。一方、中山社長と中山雅彦専務は、西が丘小学校を訪問。中山社長は「新型コロナウイルスに注意しながら、たくさん勉強してほしい」とし、図書20冊、液体薬用ハンドソープと除菌ジェルの詰め合わせを宮崎浩校長に手渡した。

中山社長は「来年以降も寄贈とウッドデッキの設置を続けていきたい」と話していた。



中山社長が宮崎校長に本を手渡した



ほたる観賞用に設置したウッドデッキ

網走タイムズさん記事

木道、トイレを設置



市卯原内「北ほたるの里」

関係者「コロナ対策で観賞を」

網走西部地区資源保全協議会 上田兼会長が市内卯原内近くの山間部に設けた「北ほたるの里」にこのほど、トイレなど夜の観賞に必要な設備を整った。同会は「新型コロナウイルスの感染予防を考慮した上で、ホタル観賞に訪れてほしい」と話している。

伊藤

「北ほたるの里」は、近年ほとんどみられなくなったホタルを復活させることで昔の農村地帯を取り戻そうと、同会が取り組んでいるもの。西が丘小児童の協力を得て、現地を探集したホタルの幼虫を飼育。「北ほたるの里」に放流している。

現在はさまざまな企業などの協力を得て、ほたるの里に設けられた木道

人工の池を整備。卯原内川の水をいったん貯め、温めたうえで下流の池に流れ込むようにするなど、ホタルに適した環境を整っている。沢に沿った雑木林に遊歩道を設け、夜間は足元を照らす小さな照明を灯すなど、同協議会は観賞のための準備を整えているが、中でもトイレは市内のそうめん屋「中村吉社長」が、木道は網走工業（中山寿恵社長）が毎年、無償で設置しているもの。今年もすでに設置を終了している。

今年もすでに設置を終了している。今年もすでに設置を終了している。



北ほたるの池

網走西部地区資源保全協議会

西が丘小学校へ 図書、消毒液など寄贈 R2.07.16

網走タイムズさん記事



西が丘小に図書などを寄贈

網走工業 消毒液なども

網走工業(中山寿恵 社長)がこのほど、網走西が丘小(宮崎浩校長)に図書と生活用品を贈った。

同社は、ホタルの飼



育と放流を通じた地域環境保全に取り組んでいる同小児童を支援しようと毎年、ホタル放流式の席上、同小に図書を贈っている。

しかし、今年は新型コロナウイルスの感染拡大から、放流式は同小児童と、地域のホタル復活に取り組む網走西部地区資源保全協議会(上田薫会長)の人たちのみで行うこととなり、恒例となっていた放流式でのプレゼントは行わなかった。

そこで、中山社長が同小に図書18冊を持参。校長室で宮崎校長に図書を手渡した。

併せて、新型コロナウイルス感染予防に「と、ハンドソープ9袋、消毒液3本も寄贈。宮崎校長は「図書を、3年生のホタル学習や読書活動に活用したい。ハンドソープと消毒液は今、入手が困難なので大変ありがたい。児童の感染予防に役立てていきたい」と、同社の善意に感謝していた。

併せて、新型コロナウイルス感染予防に「と、ハンドソープ9袋、消毒液3本も寄贈。宮崎校長は「図

家庭教育サポート企業として

